メンター制度について

Mentor
メンター

青野 源太 あおの げんた ｜ 令和5年入省
職業安定局 需給調整事業課調整係

Mentee
メンティー

柳沼 洋輝 やぎぬま ひろき ｜ 令和8年入省
人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官室若年者就職援助係

1. メンティー（柳沼さん）からメンター（青野さん）に相談したこと。

柳沼さん：業務の進め方やミスを防ぐための工夫など、業務に関する幅広い相談をしました。また、保険の選び方や省内設備の利用方法など、業務以外で気になっていたことや不安に感じていたことについても相談させていただきました。

2. メンター（青野さん）からメンティー（柳沼さん）にアドバイスしたこと。

青野さん：誰にでもミスは起こりうることを前提に、ミスの認識の仕方を助言しました。具体的には、ミスという事象を単に「失敗」と捉えるのではなく、その原因の分析と適切な対応方法の検討により、次なる「成功」のエッセンスとなることをお伝えしました。

3. メンティー（柳沼さん）にとってメンター（青野さん）がいてよかったと思ったのはどういう時ですか。

柳沼さん：入省直後は分からないことや不安が多くありましたが、気軽に相談できるメンターがいて心強かったです。困ったときにいつでも相談できる安心感があり、不安を抱え込むことなく業務に取り組むことができています。

4. 今後、メンティー（柳沼さん）にどう成長していってほしいですか。

青野さん：柳沼さんは、「困り事を抱える人の力になりたい」という想いが強い方です。この想いを忘れずに、この先の様々な経験の中で多角的な視点と正確な判断力を養い、国民の声を政策に反映できる行政官になって欲しいと思います。

1年目職員の1日

近藤 希音 こんどう ねね ｜ 令和8年入省
職業安定局 障害者雇用対策課職業指導係

1年目で経験している主な業務について

各労働局から報告される障害者の職業紹介状況に関する実績の取りまとめを担当しています。また、ハローワークシステムを活用し、障害種別ごとの紹介状況など、障害者雇用の実態把握や分析に必要なデータの抽出・確認を行っています。併せて、労働局からの問い合わせ（疑義照会）への対応や、労働局ヒアリング実施に向けた準備業務にも携わり、障害者雇用施策に関する知識や業務への理解を深めています。

09:30 ①登行
労働局や他係から届いたメールを確認し、今日の業務のチェックします。

10:00 ②もにす認定企業の視察・労働局ヒアリング
障害者雇用に積極的に取り組んでいる企業を訪問し、雇用の実態や取組内容の把握に努めます。また、労働局の障害者雇用担当者へのヒアリングに同席し、現場の状況や課題、今後の方向性等について理解を深めます。

12:15 ③昼食
同期や職場の方と一緒にランチへ。日比谷公園や銀座、虎ノ門など、霞ヶ関周辺のお店を開拓するのも楽しみの一つです。午後の仕事に向けてリフレッシュします。

13:00 ④疑義照会への対応
係が担当している業務について労働局から問い合わせがあり、前例を参考にしながら回答案を作成します。

15:00 ⑤実績集計・資料作成
各労働局から提出される障害者の職業紹介状況などの実績を集計し、資料を作成します。

17:00 ⑥電話対応
労働局や関係機関、国民の方などから寄せられる問い合わせに対応します。

18:15 ⑦退庁
1日の業務を整理し、翌日の予定を確認して退庁します。

地方研修について

研修先
広島労働局 広島公共職業安定所

加藤 さよ かとう さよ ｜ 令和7年入省
（令和7年度所属）職業安定局 障害者雇用対策課雇用促進係

ハローワークでの研修では、各部門を1ヶ月ごとにまわり、本省で携わっていたものや見聞きしていたものが実際に現場で運用されているのを、自身も業務として携わりつつ、間近で見ることができています。

特に、ハローワーク広島では体制強化のため、本年度から新たな部門を設置し、課題解決型支援事業（職員による特別チームを編成し、就職に課題がある人への手厚い支援や人材不足の企業への採用支援を行う事業）を行っており、新たな企画が生まれたり、利便性が向上したりする様子を目の当たりにするとともに、求職者と求人者双方に対する一体的支援を行うに当たって、雇用保険も含めた所全体でのよりよい連携の在り方を考える日々を過ごしています。地方研修は、その土地の魅力も感じつつ、施策実行の最前線で物事が動いていく姿と、窓口に来られる方や職員の声を直接見聞くことができる貴重な機会であると実感しています。

研修先
福岡労働局 福岡中央公共職業安定所

和合 伊吹 わごう いぶき ｜ 令和7年入省
（令和7年度所属）職業安定局 総務課首席職業指導官室職業紹介係

最初の研修先だった雇用保険給付課の窓口業務で、対応した方々から「丁寧に説明してくれてありがとう」とお礼の言葉をいただいたことが強く印象に残っています。本省での業務では利用者の方々と直接接する機会がほとんどないため、一つひとつのやり取りが新鮮でした。

地方研修では、職業安定行政はハローワークでの職業紹介をはじめ、利用者に寄り添った「サービス」としての側面を強く持っていることを実感しました。そして、その「サービス」を支えるためには、制度の趣旨や手続を利用者や現場職員にとってわかりやすい形で示すことが不可欠だと思います。

本省に戻ってからは、現場や利用者の視点を意識しながら、より分かりやすい説明に努めていきたいです。

人間科学職（初年度）の研修について

※様々な状況により、オンライン実施等、変更となることもあります。

4月

国家公務員合同初任研修
全省庁合同で行われる研修。講演等を通じて、国家公務員としての心構えを学ぶ。

新規採用職員研修
厚生労働省新人職員対象の約1週間の研修。省が所掌する幅広い業務内容を学びながら、行政官としての基礎を身につける。

5月～7月

国家公務員合同初任研修
全省庁合同の約3週間にわたる研修。政策に関する講義や討論、地方自治体での見学・実習を行う。様々な省庁の同期と親睦を深めるとともに、幅広い知見と繋がりを得る機会となる。

3 研修先 北海道労働局 札幌公共職業安定所

菅原 さくら すがわら さくら ｜ 令和7年入省

（令和7年度所属）人材開発統括官 キャリア形成支援室キャリアコンサルティング係

ハローワークでの研修では、本省で企画・立案した制度が現場を通じて国民の皆様へ届けられる過程を肌で感じています。

特に印象的だったのは、利用者一人ひとりの状況やニーズに応じて制度を案内し、複雑で改正も多い制度についても分かりやすく説明できるよう、職員や相談員の皆様が日々知識を更新し続けている姿です。制度は必要な方に適切に届いてこそ価値を発揮するものであり、それが現場の努力によって支えられていることを学びました。

今後、本省で業務に携わる中では、現場と本省をつなぐ視点を意識しながら、施策を丁寧に検討し、実効性のある施策づくりと分かりやすい情報発信に取り組みたいと考えています。

4 研修先 千葉労働局 松戸公共職業安定所

中田 英里 なかだ えり ｜ 令和7年入省

（令和7年度所属）職業安定局 雇用開発企画課企画法令係

地方研修では、2ヶ月ごとに各部門・課をまわり、雇用保険に関する手続き、失業給付の資格決定・認定、求人受理・開拓、職業相談・紹介のようなハローワークの業務を幅広く経験します。また、地域のお祭りなどのイベントに参加する機会もあります。

現場での実務を通じて、制度について実感を持って理解できることが、地方研修ならではの学びだと思います。また、適切で分かりやすい説明を行い、円滑に手続きを進めることが、制度を必要とする方の満足度に繋がることを感じています。本省に戻った際には、制度を利用する側の視点と、提供する職員側の視点を持って、業務に生かしていきたいです。

引き続き、現場から多くのことを学べるよう、積極的に研修に取り組んでいきたいと思います。

5 研修先 兵庫労働局 神戸公共職業安定所

正 菜々子 しょう ななこ ｜ 令和7年入省

（令和7年度所属）人材開発統括官 若年者・キャリア形成支援担当参事官室企画係

休日はもちろん、平日のアフター5も神戸を満喫しています。ハローワーク神戸や兵庫労働局の職員とは仕事終わりに食事に行ったり、休日にも一緒に出かけたりするなど、公私ともに充実した時間を過ごしています！

ある休日、職員の方から兵庫県が日本酒造りの盛んな地域だと教えていただいたことをきっかけに、酒蔵の蔵開きに参加しました。製造工程を見学し、試飲を楽しみながら、兵庫ならではの伝統や文化に触れることができました。また、退勤後に夕日に染まるハーバーランドの景色を眺めながら帰路につく時間も日々の楽しみです。こうした職員とのつながりは、本省に戻った後も、現場の生の声を施策に反映できる貴重なネットワークにもつながると考えています。地方研修ならではの出会いや経験を大切に、現場への理解を深めていきたいです。

～初年度3月

人間科学職研修

厚生労働省の人間科学職新人職員を対象とした数日間の研修。人間科学職が主に携わる労働行政の概要に加えて、人間科学職としての心構えなどについて学び、人間科学職の役割への理解を深める。

次年度4月～

地方研修（次年度（入省2年目）の1年間で実施）

都道府県労働局及び、ハローワークという職業安定行政の第一線で働きながら、職業安定行政施策の運用を具体的に学ぶ。